

研究名：人工股関節置換術において関節包温存が及ぼす臨床的影響はあるか？

1. 研究の目的

当院で頻繁に行われている人工股関節置換術(THA)において、これまでは関節包周囲の靱帯は切除されることが一般的でした。近年、関節温存手術、筋腱温存手術という概念が提唱され始め、最近、関節包についても温存する意義が稀少ではあるが報告されております。

この研究の目的は、関節包及び周囲靱帯を再建することが本当に術後に影響を及ぼすのかについて検討を行うことである。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2023年～2024年6月までに人工股関節置換術を受けられた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月
- ③ 研究方法：関節包及び周囲靱帯を再建することが本当に術後に影響を及ぼすのかについて検討を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

手術データ、検査データ、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報~~は調査対象ではなく、個人情報~~は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

白庭病院 整形外科 関節センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

白庭病院 整形外科 岩切健太郎

住所：〒630-0136 奈良県生駒市白庭台6-10-1

電話：0743-70-0022

○研究責任者：

白庭病院 整形外科 岩切健太郎